

④ 学年通信などでの連絡例



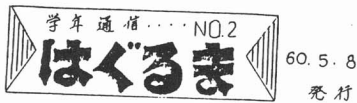
★大★生活目標★大★

礼儀正しく

- ◎ あいさつは元気よく
- ◎ 時間を守って生活すること
- ◎ 廊下・階段をはしらないで歩く
- ◎ 使ったものはかたづける

1年生の時から、基本的な生活習慣をきちんと身につけることが大切です。家庭でも、上記の生活目標を守らせて下さい。

- 学校給食の時間 □ □ □ □
- 手をきれいに洗う
  - 当番の子は白衣にマスクをつける
  - 当番でない子は席で静かに待つ
  - もりつけたごちそうを順番にもらう
  - よくかんで、残さないで食べる
  - 順番よく食器をかたづける



5年生

60.5.8  
発行

5月のさわやかな風と熱帯の新鮮な地への旅を踏つてくれるごちそう、子供たちにとって、期待と不安を伴った新学期でしたが、先月からは1か月、少しづつ学校生活にも慣れ、学習や生活に落ち着いて取り組んでいます。特に、アウゲや委員会の前由次第り活動ははまりました。

登校不登校も増えて、低学年の世界と混ざって  
いる様子も色とりわけ嬉しく思います。高学年  
としての自覚を持った意欲的な学校生活を送って  
います。

(4) むすび

教育目標を広く理解させるため各学校で種々の方法が工夫され努力が続けられていると思う。

しかし、多くの場合は、児童生徒への理解だけにとどまり、保護者に対しては、理解のための手だてが十分にはとられていないようである。

教育目標を達成するためには、まず第一に、指導者である教師と主体者ともいえる児童生徒が教育目標を正しく理解していなければならないのはもちろんであり、そのため、教育目標にかかわる自校の問題点を把握し、よりよい方策を講じていかなければならないのはいうまでもないことである。

次に、忘れてならないのは、保護者が教育目標

学年だより 第63号

最高学年としての自覚と責任

いよいよ小学校の最高学年となり、そして、最上級生になった喜びとともに高学年らしい自覚のもとに積極的な行動で一歩一歩着実に進んでいきたいと思えます。

なにしろ、昨年度同様にお世話になりました。

気分を新たにますます努力していくつもりです。どうかよろしくご協力くださいますようお願いいたします。

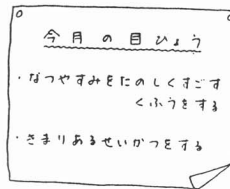
学年目標、*Learning Goal*

- 積極的に自分の意見を発表できようとする
- 相手の立場をよく理解し協力できるよとする

重点目標

正しい言葉で話のできようとする

ほけんだより 7月号



1. きそく正しい生活しよう

- ・早く 早起きして 十分なよいみんをとうる
- ・三席の食事ときちんとたべよう。
- ・たべたあとは歯をみがこう。(はみがきカミソリをとりよう)

2. げんきよく みがぼう

を理解するということである。

本事例は、各学校の実践と比較した場合、必ずしも目新しい方法とはいえないかもしれない。

しかし、随所に見られる保護者へ焦点をあてた方策と努力は、かなり有効であると考えられる。

特に、家庭での努力事項の明確化、学年通信に目標理解のための欄を設定していることなどである。

このように手だてを工夫し、学校側から一方的に理解を強要するだけでなく、教師、保護者、児童生徒の三者が教育目標の理解に向けて、話し合う場を設定し、つねに教育目標を意識していくことに努めれば、教育目標具現の大きな力となるものと考えられる。